

# 令和6年度 学校経営の構想（グランドデザイン）

茨城県の教育目標  
茨城県学校教育指導方針

「すべての子どもの  
可能性を引き出す  
活力ある学校づくり」

## <本校教育目標>

豊かな心を持ち  
意欲的に学び考える  
心身ともにたくましい  
児童の育成

保護者の願い 地域の願い

ひたちなか市教育目標  
学校教育振興のためのスローガン  
夢・感動・笑顔がひろがる  
教育のまち ひたちなか  
【キーワード】夢 感動 笑顔

### 目指す学校像

- 児童にとって夢と感動のある学校
- 教職員が協働し誇りに思う学校
- 保護者・地域とともに歩み信頼される学校

### 目指す児童像

- すすんで 取り組む子
- よく考えて やりとげる子
- 素直で 思いやりのある子

### 目指す教師像

- 意欲を持ち、学び続ける教師
- 子どもの気持ちを理解できる教師
- 明るく積極的な教師

## 児童の実態

R 5 学力診断テストより（県との比較）  
4 学年 算数 - 3.6 理科 - 3.0  
5 学年 算数 -15.9 社会 -11.0  
6 学年 算数 -17.7 理科 -18.8  
・自ら課題を見つけ、考え、行動し、  
解決しようとする力の育成

R 5 児童アンケート結果より  
・あいさつができる 84.0%  
・いじめをしない 90.3%  
・学校が楽しい 90.2%  
・自己肯定感、自己有用感の育成

・県体力テスト A+B 50.4%  
・給食を残さず食べる 23.5%  
・悩みや相談への対応 81.7%  
・健康な生活習慣の定着と安全安心  
な環境整備の充実

## 組織目標：児童が主役の活動をふやす

### 得意ダネ

### 学び

### 感動ダネ

### 心

### 元気ダネ

### 体

#### 【目標】

分かる・できる喜びを味わえる授業づくり

- ・探究的に自ら学ぶ力の育成
- ・情報活用能力の育成

#### 【重点施策】

- 知識・技能の確実な習得と活用
- 問いの発見や試行錯誤・アウトプットによる問題解決授業の構築
- 体験的な学習や表現活動の充実
- 特別支援教育における個別の学習支援の推進（少人数指導を含む）
- デジタル教材や生成AIなどのICTの効果的な活用推進
- ☆児童が主役の授業づくり 85%

#### 【目標】

一人一人の心の居場所・絆づくりを目指した学級づくり

- ・自己指導能力の育成
- ・自己肯定感、自己有用感の育成

#### 【重点施策】

- 的確な児童理解と信頼関係の構築
- ☆あいさつができる児童 85%
- 考え、議論する道徳の推進
- 人権教育の推進（外国籍児童の理解及び配慮、差別や偏見の解消）
- たてわり班活動をはじめとする自治的・協働的な特別活動の充実
- ☆いじめをしない児童 100%
- ☆学校が楽しいと感じる児童 100%

#### 【目標】

安全・安心な学校づくり

- ・健康管理能力の育成

#### 【重点施策】

- 食育の充実
- ☆給食を楽しみにする児童 100%
- 体力アップ推進プランの推進
- ☆体力テスト A+B > 55%
- 交通事故0
- ・定期的な交通安全指導の推進
- ☆自転車のヘルメット着用率 100%
- 教育相談体制の整備
- ・いばらき「心の健康観察」活用
- ・SC、SSWなど専門家の活用
- ・校外相談機関の周知、啓発
- ☆悩みや相談への対応満足度 85%

#### 資質能力の向上・服務規律の確保

- 危機管理能力の向上（飲酒運転等）
- 相互授業参観研修の実施（随時）
- コンプライアンス研修の充実（毎月）
- 食物アレルギー対応研修会等の実施
- 時間外勤務の平均45時間以内 100%

#### 家庭・地域等と連携した教育活動の推進

- 地域社会、保護者と連携した家庭教育、学校教育の推進
- コミュニティー・スクールの実践及び活用の推進
- 地域社会・ちからこぶの会等と連携した教育活動の推進（運動会、夏祭り他）
- SC、SSWとの連携及びSNS・HP相談窓口の開設等で児童の悩みの早期発見・解消
- 保育所、幼稚園との接続強化（行事等での交流、職員間での交流・情報交換等）

ひたちなか市立那珂湊第三小学校